

ブドウ「シャインマスカット」の チャノキイロアザミウマ対策



果皮が黄緑色のブドウ「シャインマスカット」では外観の美しさが重要ですが、果粒軟化期以降にチャノキイロアザミウマに加害されると、褐変して見た目が損なわれます。ここでは、シャインマスカットでのチャノキイロアザミウマ対策について紹介します。



1 チャノキイロアザミウマの発生と被害

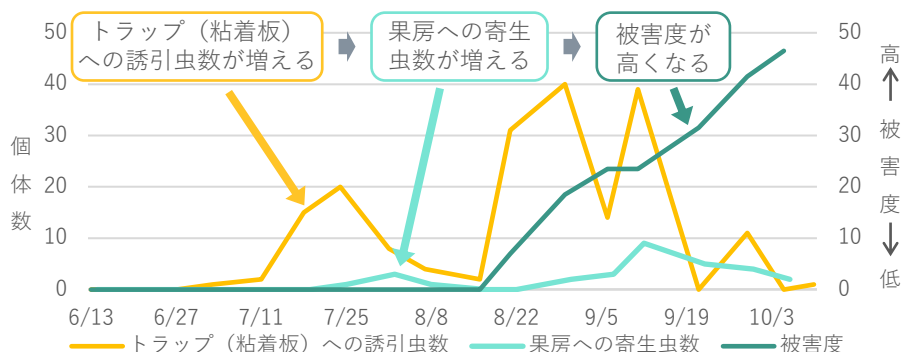


チャノキイロアザミウマ
成虫（約0.9mm）



チャノキイロアザミウマ
による被害

チャノキイロアザミウマは、ブドウの他にも多くの植物に寄生する害虫です。成虫の体長は約0.9mmと小さく、葉や果粒に針のような口を刺して吸汁し、果粒では加害された部分が7～10日後に褐変します。本種の発生は7月下旬以降に多くなり、それに伴って果粒の被害度も高くなります。



チャノキイロアザミウマの発生と被害度の推移 (平成29年)



2 防除方法

- ① チャノキイロアザミウマの防除は「開花10日前頃(6月中旬)」、「開花直前」、「落花直後」、「大豆粒大(7月中旬頃)」と概ね10日間隔で有効な防除薬剤を散布します。
- ② チャノキイロアザミウマの被害は袋かけをすることによって防ぐことができますので、袋かけ後の薬剤散布は必要ありません。ただし、薬剤散布から袋かけまでの日数をあけると被害が多くなるため、「大豆粒大(7月中旬頃)」の散布から袋かけまでの日数が10日以上となる場合は、「7月下旬」に薬剤散布を行い、その後も袋かけ前まで10日以内で散布します。
- ③ 袋かけは薬剤散布後の薬液が乾いてから速やかに行います。

散布から袋かけまでの日数差による被害
(平成30年)

区 (袋かけをした日)	被害程度指数別 果房率 (%)			
	外観良好	品質低下		
	—	A	B	C
散布当日に袋かけ (7/12)	100	0	0	0
散布10日後に袋かけ (7/22)	15	75	0	0
散布15日後に袋かけ (7/27)	0	40	40	20
散布20日後に袋かけ (8/ 1)	0	20	50	30
袋かけなし	0	0	0	100

注1) 薬剤散布：7月12日にアディオフロアブル1,500倍を散布

注2) 被害程度指数：－：被害なし、A：被害果粒率1～20%

B：被害果粒率21～50%、C：被害果粒率51%以上

チャノキイロアザミウマの防除薬剤
(令和6年ぶどう病害虫防除暦・シャインマスカット基準)

薬剤名 (IRACコード)	倍数	防除暦での散布時期						
		開花10日前頃	開花直前	落花直後	大豆粒大	7月下旬	8月上旬	8月中旬
ベストガード水溶性 (4A)	1000	○						
ジノテフラン剤 (4A)	2000	○	○	○				
パダンSG水溶性 (14)	1500	○						
アグロスリン水和剤 (3A)	2000		○	○	○	○		
アディオフロアブル (3A)	1500		○	○	○	○		
ヨーバルフロアブル (28)	5000				○	○		
テッパン液剤 (28)	2000				○	○		
スピノシン剤 (5)	10000						○	○

注1) ジノテフラン剤：スタークル顆粒水溶性、アルパリン顆粒水溶性

スピノシン剤：ディアナWDG、デリゲートWDG

注2) 異なる系統の薬剤 (IRACコードの異なる薬剤) でローテーション散布する



開花10日前頃から袋かけ前まで概ね10日間隔で散布する

